



インスピレーションになる

BE THE
INSPIRATION

RI テーマ
インスピレーションに
なる

2018~2019

国際ロータリー第 2730 地区 中部グループ

週報 佐土原ロータリークラブ

会長：鷓野 隆春 副会長：武政 勝巳 RI2730 地区ガバナー 川原 篤雄
 幹事：靱田 直樹 会計：梶田 與之助 中部グループガバナー補佐 安田 秀一
 事務局：吉野 由里子 会報委員：藤堂 孝一 RI 会長テーマ インスピレーションになる
 例会場：シーガ イコンベンションセンター 2730 地区スローガン プラスワンの考動を
 例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 例会場 TEL :0985-21-1133・FAX 0985-21-1144
 事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

第 1496 回例会 平成 30 年 8 月 8 日(水)

<本日のプログラム>

- | | |
|----------------------|---------|
| 1.点 鐘 | |
| 2.ロータリーソング | 『我らの生業』 |
| 3.四つのテスト唱和 | |
| 4.会長の時間 | 5.幹事報告 |
| 6.委員会報告 | 7.出席報告 |
| 8.ハッピーBOX 披露 | |
| 9.会員卓話「太田 忍君 中武 幹雄君」 | |
| 10..点 鐘 | |

第 1495 回例会記録 平成 30 年 7 月 25 日 (水)

◎四つのテスト唱和 太田 忍君

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. <u>真実</u> か どうか | 2. <u>みんなに公平</u> か |
| 3. <u>好意と友情</u> を深めるか | |
| 4. <u>みんなのために</u> なるか どうか | |

■会長の時間 会長 鷓野 隆春君

本日はバーコードのお話をさせていただきます。各テーブルの資料をご覧になりながら御聞き下さい。



バーコード (英: barcode) は、縞模様状の線の太さによって数値や文字を表す識別子。数字、文字、記号などの情報を一定の規則に従い一次元のコードに変換しレジスターなどの機械が読み取りやすいデジタル情報として入出力できるようにしている。バーコードは日頃あらゆる商品で目にすることができます。例えば、食品、衣料、電気、本、郵便物、飛行機のチケット、電車の切符、またコンサートのチケット、一度もあつたことはありませんが宝くじ、図書館の本、薬、またあまり気が付きませんが意外なところで銀行の通帳にもバーコードはついております。今では携帯電話でバーコードを読み取る機能もついており身近な存在になっております。では何のため

にバーコードは印刷されているのでしょうか?スーパーに行きましたら、商品をレジに持っていき、レジ打ちの方が、バーコードを調べるためのバーコードリーダーの光をあて、その商品は、何なのか?またいくらなのか?を自動で判別してレジのコンピュータにインプットされます、そしてすべて調べ終わりましたら合計金額が表示され簡単にお会計ができます。小売りスーパーは商品の識別、価格設定等を登録して、何が何個仕入れられて、そして何個販売されたか?逆もあります、何が何個売れたから、何個仕入れるか?このように売り上げから、在庫管理までさまざまな運用をしております。また運送業務でもバーコードは活用されております。送り状にあるバーコードを読み取ります、そして、その商品がどこに送られるかを入力します、そうしましたら、新しいバーコードが印刷されます。その新しいバーコードを段ボールに貼ることで、のちにバーコードのおかげで集荷場では自動で、各送り先にベルトコンベアで振り分けられます。ようは今まで人間の手で、配送場所の仕分けをしていたものが、自動に振り分けられる目印として、運送の効率化に一役買っております。そんな便利で当たり前存在する、バーコードの起源はいつなんでしょうか?いつから日本に存在するのでしょうか?1940年代後半までさかのぼります、もともとモールス信号から始まったとされます。そのころよりアメリカにて商品の情報を簡単に読み取る方法はないかと研究が始まります、1950年代に入り、アメリカで共通のバーコードとして認知されるようになりました。実用化は、1967年、アメリカの食品チェーン店が、レジの行列を解消させるために実用化となりました。日本では今のバーコードが実用化されたのは、1978年でございます。国際EAN協会に加盟し、認可をもらい運営が始まった国際EAN協会は1977年にヨーロッパ諸国が主体となって設立したが、その後全世界的に加盟国が増加し、1978年に改組した国際的な統一商品コードの管理機関。わけですが、そこからあ

らゆる国々が世界共通のバーコードを持つようになり、ほとんどの国々で同じように使用されるようになりました。バーコードの数字は何？このバーコードをじっくり



見て頂きたいのですが、縦にある線のそれぞれ太さが違います。その塗り分けの仕方によって、下の数字が表れます。ただ黒い線を適当に配置しているわけではなく、その線の太さ、白いスペースにはそのような意味が隠されております。そしてその全体に光をあて反射させて数字を読み込むことができるということです。そしてその数字にもいろいろと意味がございます。4902425613642とあります。最初の45、49とありあますが、これは日本を意味します。次に、022032はその商品のメーカーを表すコード番号です。そして1204ですが、こちらはその商品を表すコード番号です。最後の数字の2は特殊な計算方法で答えが出る数字です、間違えの防止です。こちらは省略いたします。バーコードの申請さてバーコードは実は誰でも取得は可能です、法人、個人は問いません。各商工会へ行き、1200円の申請書を購入します。書類手続きを済ませ、あとは3年間の登録料の10500円を支払いご自分のJANコードを取得できます。このお値段でしたら小さな商店や個人の方でも無理なくJANコードを使用できます。さて、世の中にはさまざまなバーコードが存在するわけですが、日本で発明されたバーコードはご存知でしょうか？下にあるバーコードですが、名前をQRコードと申します。みなさんも少しは目にするではないでしょうか？これは日本の企業デンソーが1994年に開発したバーコードになります。QRコードとは、カメラでとらえることで、インターネットにつながり、すぐに情報を得ることができるバーコードになります。開発後QRコードは瞬く間に全世界に普及しました、その理由として、規格化して、世界標準にし、さらに無料でだれでも使用できるようにしたので。まず規格化して、世界標準にしたおかげで模倣品（偽物）の出現はありません。さらに、無料化にすることで自由に誰でも使用できるメリットから広がったわけです。しかし、デンソーはせっかくなにかいいものを開発して無料で提供することだけではまったく事業として成立しません。そこには秘密がありました、それは、そのQRコードを読み取るリーダーを販売することを事業として成立するようにビジネスモデルを組み立てたからです。QRコードが普及すれば、それを読み取る機械が普及するという仕組みです。新しいも

のを考えて、それをそのまま素直に販売するのではなく、何を誰に販売するのか、そしてその環境をどのように整備するかで、新たなビジネスモデルができるかもわかりません。最後に、福岡西ロータリークラブのホームページより、表紙にQRコードが貼りつけてあります。SのQRコードを使用すると、例会の案内が表示されます。東京神宮西ロータリークラブのホームページにもQRコードがありました。こちらはクラブの案内が確認できます。我々佐土原ロータリークラブでも活用してみたいはいかがでしょうか？

■幹事報告 幹事 梶田 直樹君

<文書案内>*
延岡中央 RC=創立 40 周年記念式典・祝賀会のご案内*高鍋 RC/西都 RC=8 月度例会案内<報告事項>



*宮崎アカデミ

ーRC 認証伝達式への参加報告

*佐土原 RC8 月度例会案内報告

■出席報告 宮原 建樹君

○会員数=26名(免除会員2名)○欠席届6名

○出席数=20名 □出席率 80・0%

■ハッピーBOX 披露 中武 幹夫君

<ニコニコへ>藤堂 孝一君~宮日掲載を忘れていました。宇治橋 信雄・真弓ご夫妻~7月26日で20回目の結婚記念日です。今治のタオルありがとうございました。皆勤賞として頂いたロータリーエンブレム入りカップですが、晩酌用として大活躍中です。ありがとうございました。

<財団へ>岩切 正司君~川原ガバナーをお迎えて。<内容は先週分>



■委員会報告 藤

堂 孝一君・梶田 與之助君 ■ 会員卓話



○鬼塚 圭司君

○岩切 正司君